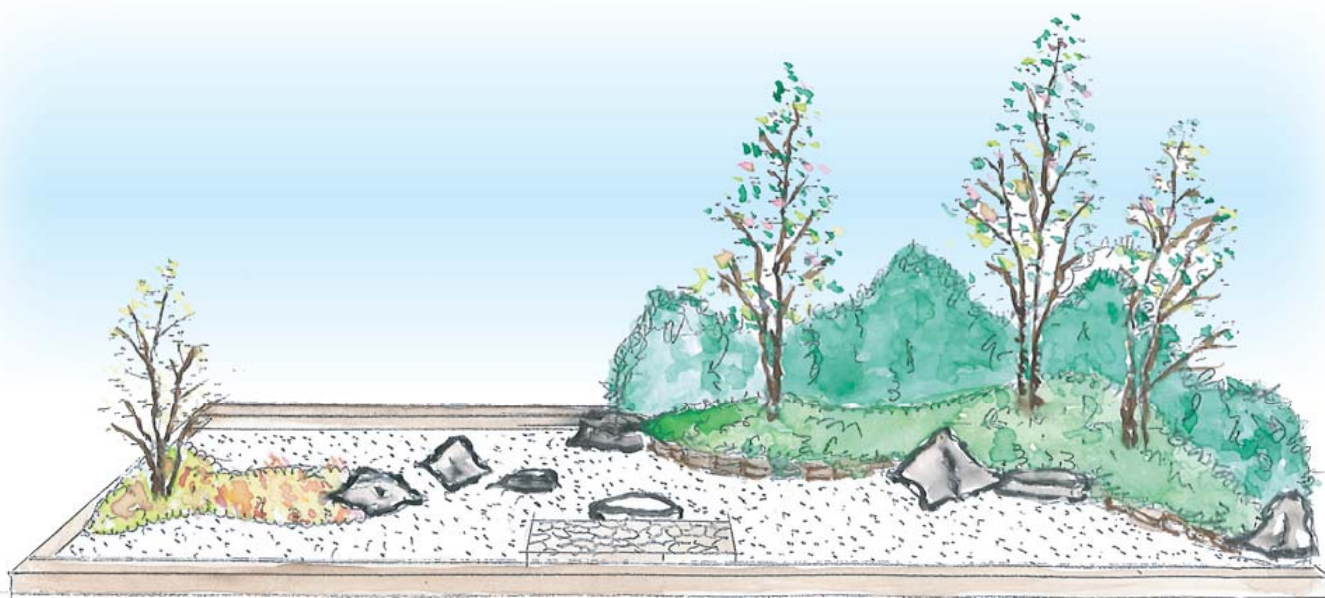


プロの技を教える

## 若い女性庭師が作る小さな庭



### 庭園マイスターズ

日本で一番  
大きな庭師の  
プロ集団

ジャパン庭園マイスターズ「日本造園組合連合会」が庭づくりの技を皆様にご披露します。横3メートル×縦1.8メートルの5.4㎡の小さな空間を素敵なお庭に変身させます。石の配置、木の配植、そして草花の彩りなどプロの技がいっぱいです。

### ここがポイント

樹木・竹・庭石・草花など庭師が使う材料には世界中でひとつとして同じものはありません。工場製品とは違い自然の材料は一つ一つ個性があります。

これを生かすのが  
庭師の腕前

女性らしい  
感性にも注目

私たちは和風庭園にも草花や宿根草の花を積極的に使っています。若き女性庭師の感性で和の世界に鮮やかな花を咲かせます。

### 出演者の横顔



親方 宇田川辰彦親方

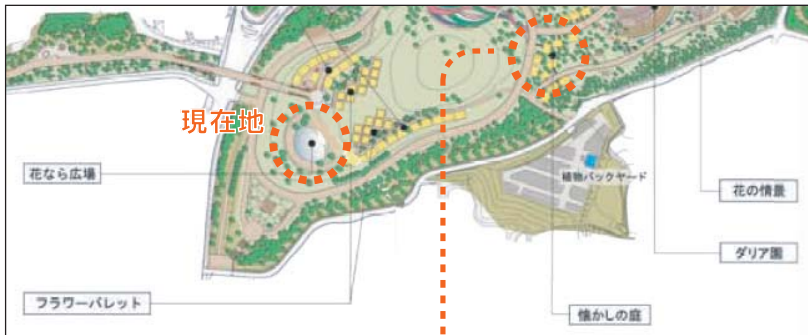
東京都世田谷区でこの道45年。現代の名工に昨年選ばれました。石組みを得意とし、屋上庭園の名庭が多数。技能オリンピックの審査員でもあります。

職人 山口県からやってきたスリーレディース

名越久美子さん 岡部造園 夢 造園に関する資格を取得  
吹上笑美さん 多々良造園 夢 世界でひとつの庭を作る  
上利春香さん 高山造庭園 夢 なんでもチャレンジ

皆さん20代ですが国家資格の1級造園技能士を持ち、若者の技能オリンピック技能五輪国内大会のメダリストというスーパー職人です。

最後にお花をプレゼントします



全国都市緑化ならフェア会場地図（一部）



出展庭園 **懐かしの庭**部門 **せせらぎの里に聞く 秋の詩**  
金賞受賞

懐かしの庭はこんな庭！

リンドウ キキョウ シュウメイギク  
カキやスダチの実りの秋  
庭園には赤とんぼや蝶、キリギリスもやってきます

庭の風景一つ一つに私たちの技が生かされています

**庭師の技** 植栽はまず生育環境づくりから

土には全体に竹炭を混ぜました。竹炭には土壌に酸素を供給し、通気、水はけ、保水性をよくする働きがあります。さらにミネラルの補給と同時に微生物も増殖させ木の発根を促します。

**庭師の技** 表と裏を見極めて木を植える

同じ種類の木でも木の姿にはそれぞれ個性があります。木を植えるときは、その場で木を回して向きを検討します。どの方向に向ければ最も見栄えがし、庭の形式としていかせるか十分に考えるのです。このような木の植え方をするのは世界中でも日本の庭師だけでしょう。

**庭師の技** さざれ石の延段に目地の美しさを表現

延段は京都産の「さざれ石」を使った、あられをまき散らしたような「あられこぼし」という手法。さざれ石は雨水などで石灰石が溶解し小石を凝結させて長い歳月をかけて徐々に大きくなった石です。

**庭師の技** 石により緩急自在な流れを表現

水鉢からあふれた水が一筋の流れをつくります。流れのなかに、そして岸辺に配られた大小の石によって導かれ水はいきいきとした表情をみせます。上流は渓谷のような軽やかな流れ、瀬落とし（小滝）を経て、中流、下流に行くに従って徐々にゆったりとした流れへと変化します。

